

金沢犀川ワイズメンズクラブ 創立 20 周年記念誌

— 本 編 —



金沢犀川ワイズメンズクラブ

2014. 6. 30

目 次

志を高く持とう！	2013-2014 西日本区理事 高瀬 稔彦(岩国みなみクラブ)	2
新たな活路を！	2013-2014 中部監事 長谷川 和宏(名古屋東海クラブ)	3
再入会者・続投会長としての感想	会長、Yサ・ユース委員長 澤瀬 諭	4
国重正昭君のこと	功労会員 三谷 信三	5
金沢犀川クラブ創立時の思い出	会計、ファンド委員長 川村 孝治	6
クラブ創立20周年を振り返って	書記、地域奉仕・環境委員長 北 肇夫	7
入会から第17回中部部会までの思い出	交流委員長 竹中 丈晴	8
入会10年目に思うこと	広報・ブリテン・EMC 委員長 平口 哲夫	9
年表		10
例会卓話一覧		16
編集後記		19

志を高く持とう！

2013-2014 西日本区理事 高瀬 稔彦（岩国みなみクラブ）

金沢犀川クラブが創立 20 周年をお迎えになったことを、こころからお慶び申し上げます。また、常にワイズの理想を求めてワイズ・YMCA 運動を上げ、その理想実現のためにたゆまぬ努力を続けてこられたことに敬意を表すとともに、こころからの感謝を申し上げます。

100 年にわたり連綿と続いたワイズメンズクラブ運動を、皆様はどのようにお考えでしょうか。顧みると、ワイズメンズクラブが誕生した時期は戦争の足音が忍び寄り、世の中が閉塞感に溢れて道徳や倫理が改めて問い直される混迷の時代でした。このクラブは当時のみんなの気持ちが鳩合し、使命をもって生まれました。その使命とは「強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う」というクラブのモットーに収斂されるものです。

ご当地金沢は、九谷焼や加賀友禅、金箔などの伝統工芸が息づく街です。こうした伝統工芸が江戸時代から明治・大正・昭和を経ていまなお華麗なたたずまいによって、現代のわたしたちも魅了してやまない魅力を堅持しているのはなぜでしょうか。九谷焼は忽然と歴史の舞台から消えた時期もありました。そうした伝統が再興を経て現代に甦り連綿と続いている、その原動力は为什么呢。それは殖産・興業という側面と同時に、工芸としての魅力と伝統を絶やしてはいけないという強い使命感をもった人々の弛まぬ努力の結晶ではなかったかと拝察します。

ワイズは余暇に楽しむボランティアではありません。YMCA の青少年育成活動を支援すると同時にそこに関わることで我々自身も全人的な成長を援けられるという崇高な運動です。青少年が絡む凄惨な事件や事故が頻繁に起こる今こそ、その価値がいっそう見直される大切なときです。裏を返せば、我々大人社会のネジの緩みがこども社会に投影されているといっても過言ではないと思います。

いま、わたしたちは先達が掲げてこられた高い理想を引き継ぎ、時代を的確に認識し、「絶対にかえてはならないもの」と「時代にあわせて変えていかなければならないこと」を定めて、まさに行動を起こす時です。まずピントを合わせるために弛まぬ試行錯誤と切磋琢磨を繰り返さなければなりません。その行動力が共に働く仲間を増やす原動力にきっと繋がります。

来る 25 周年に向けて、金沢犀川ルネッサンスが開花することを信じ、皆様のご活躍とご健勝を祈念して祝辞とさせていただきます。



（第 17 回中部部会記念集合写真 2013 年 8 月 31 日 金沢都ホテル B2F セミナーホール）

新たな活路を！

2013-2014 中部監事 長谷川 和宏（名古屋東海クラブ）

金沢犀川クラブ創立 20 周年に寄せて、改めてお祝い申し上げます。

金沢犀川クラブ創立 20 周年というものの、ワイズ歴 12 年の私と犀川クラブとの接点は、ほんのここ数年のことです。私自身が中部部長にあった 2011 年以降の短期間に金沢犀川クラブとその面々からワイズメンとしての数々の影響と学びを受けました。

既に少人数のメンバーでクラブ維持に努められていた犀川クラブでしたが、ゲストとして初めてクラブ訪問した折、開会時の国際会長～クラブ会長までの主題の披露、月間聖句の朗読、卓話をいただく講師への心遣いや、準備、各事業委員長の月間報告など、名古屋東海にないスタイルには大変感服しました。一方、毎月開催される第一例会のうち年間 6 回ほどはゲスト講師による卓話を用意したり、ブリテンを月初めまでには発行したりするなど、自クラブとの共通点も多いことも、なじみ深さを感じさせてくれるのかもしれません。

金沢犀川クラブは、2011 年東日本大震災発生直後にいち早く震災への義援金を、西日本区を通じて送金するなどのスピード感があり、子どもたちを主対象とした金沢 YMCA 主催「たけのこ掘り体験」のお世話、街頭・緑地の清掃キャンペーン、クラブホームページの更新、独自のクラブ紹介パンフレットの活用にも特長があります。

今でも忘れられないのは、2012 年 1 月、大雪の中で行われた「冬を詠む」俳句例会。準備段階から全員参加でのぞむスタイルはユニークで楽しい企画でした。会食の前に竹中丈晴氏の入会式に立ち会うことができたのも良い思い出です。二次会ではカラオケ入りで懇親を深めました。その心配りは、思いがけない個性を知り合う絶好の



(2012 年 1 月 26 日、1 月第一例会、兼六城下町 “ホテル兼六”)
機会にしてくれました。協力を地で行く犀川クラブならではの。すごいっの一言です。

この小さなクラブで、なぜこんなに大きなこと、多くのことができるのだらうと思いながら金沢犀川クラブを見てきました。「長所を活かして生き生きと！」をモットーにしてきたからでしょうか。しかし、苦節 10 年で培われたスピード・地道さ・独創性による少数精鋭にも限界があるでしょうから、今後、30 周年に向けて新たな活路をめざし邁進してほしいと願うものです。「活力に満ちたワイズライフを！」と呼びかけた、続投の澤瀬会長の願いが確実に実現されるよう心から願い、大いに期待しています。

再入会者・続投会長としての感想

会長、Yサ・ユース委員長 澤瀬 諭

2008年2月に再入会し6年が経過しました。2004年に退会した当時在籍していたメンバーは6名が残っており、新しく平口哲夫ワイズが入会されていました。退会してから4年経過し、現役を退き1年を経過したころ、三谷信三ワイズから「時間にゆとりができたのなら」と再度の入会を勧められたのが再入会のきっかけです。

最初に入会したのも三谷ワイズの強いお誘いがあったことで、約9年間在籍していましたが、仕事上の都合で例会出席等がかなわなくなり退会させていただきました。ワイズメンズクラブの活動や運営に不満があって退会したわけではないので、再入会には抵抗はありませんでした。いわゆる“でもどり”は、クラブでは非常に稀有な存在だといわれ、メンバーから大いに歓迎を受けまし



(2008年2月17日、新春特別例会の際に入会式)

た。それもその筈、再入会時のメンバーは7名で、その内1名は広義会員という、クラブ存続の危機に直面しているような状況でした。入会してしばらくしてから川上明ワイズが亡くなられ、その後2名が退会する一方、1名の入会がありましたので、現在6名にクラブとなっています。

このような現状において、他のワイズは何回も会長をやり、1回もしていないのは私だけとなったので、必然的にお鉢がまわってきて、クラブ会長をおおせつかることになり、創立20周年を迎えたわけです。

会長職を続投することはワイズメンズクラブの主旨にそぐわないことかもしれませんが、たった6人しかいない当クラブの現状を鑑みると、ある程度やむをえないと思います。過去2年間、多くの学びの機会を与えていただきましたので、この経験を生かし、会員増強を目指して粘り強くEMCに取り組んでいきたいと思います。

これまで着実に成果をあげてきた地域奉仕・環境事業や広報活動及び例会運営については、更に充実したものにし、メンバーそれぞれが各自の長所をいかして「活力に満ちたワイズライフ」を楽しむことができるようなクラブ運営に務めてまいりたいと考えております。

国重正昭君のこと

功労会員 三谷 信三

クラブ設立 20 周年にあたり一番に思うことは、2003 年 5 月 24 日(土)、石川県教育会館で開催されたクラブ設立 10 周年記念例会の講演に旧友の国重正昭君を講師に迎えることができたことである。

国重君とは、父君が石川県衛生部長として在任中、中・高の同窓生であり、よく遊び、英会話教室で共に学ぶなど親交を深めていた。その後、お互いの進路が別れてから疎遠になったが、後年 NHK 番組の「趣味の園芸」に講師として出演していることを知る。こうい



(20 周年記念の懇親会会場で国重君と共に)

うご縁から前述の大会講師として白羽の矢を立てることになったのである。当初、健康上の理由で良い返事を得られなかったが、あきらめず当時、国重君が砺波チューリップ館の顧問であったことから砺波へ赴き承諾をとりつけた。

国重君は京都生まれ。京都大学農学部卒業後、農水省に入省。樹木に関しては専門家であり、特にツツジ、チューリップの研究に携わった。NHK「趣味の園芸」講師としても活躍。

10 周年記念大会は大成功。講演会后、能登町から、のとキリシマツツジの愛好者 10 余名が来ていて懇談の時を持ったことも思い出深い。講演会を機会に国重君はワイズメンズクラブの活動に関心を寄せるようになり、東京のクラブなどからも要請があつて講演を行なったのである。

まことに残念なことに、国重君は 2007 年(平成 19 年)4 月、75 歳で逝去した。後日京都のご自宅を弔問し、遺影を前にして奥様と共に思い出を語りあつた。国重君が金沢を訪れたとき、母校、箱スキーで遊んだ兼六坂、兼六園などに案内し旧交をあたためたこと。最後に我家へ来られたとき、前庭の空間に沙羅(夏椿)を植えると一層いい形になるとアドバイスしてくださったこと。その沙羅はいま若葉がかがやき、あと一カ月もすると真白の花をつけるはずである。

金沢犀川クラブ創立時の思い出

会計、ファンド委員長 川村 孝治

創立当時、金沢 YMCA の経営をめぐる民事裁判で、予備校の継続を希望するグループに対して新たな予備校の設立を認め、それに対し金沢 YMCA は同一事業を 10 年間行なってはいけないという判決がなされました。そのため金沢 YMCA のメンバー数が激減し、どういう事業を展開していくのか将来の見通しが立てにくい混沌とした状態であったと思います。そんな時に出会ったのが金沢 YMCA 主事の上関和夫氏でした。私の友人の友人が上関氏で、それまで特に親交があったわけではありませんが、「金沢 YMCA を助けてくれ」と私にまでお願いに来るということは、余程困っているとみて、「できるだけ協力します」と言ったのが私にとってワイズメンの始まりでした。

YMCA を理解していない者が金沢 YMCA をサポートしようというのですから、最初はどうしたらよいか困惑していましたが、そのうち協力者が数名集まって来ました。別の組織で金沢 YMCA を支援する金沢ワイズメンズクラブという会があるということも知りました。また、ホテル学校経営をしようという意見も出ました。そこで金沢クラブとは別にホテル学校の運営事業をメインとするクラブを設立しようということになったのですが、うまく事を運ぶことができず、結果は学校予定地をめぐる不動産屋さんとのトラブルと上関氏の任地移動でした。

それはともかく、新たなクラブを立ち上げようと、1990 年に準備会を設立し、月に 1～2 回集まりました。準備会では米永吉範氏に随分お世話になりました。彼はロータリクラブに以前在籍した経験があったようで、例会の場所や運営の方法、バナーのデザインなどいろいろ教えてくださいました。1 年間で正式なクラブにしようと努力しましたが、結局 2 年間かかりました。準備会と初代のクラブ会長だった私は、バナーのデザインやギャベル等の購入、例会場所の選定など、クラブの設立までの準備が大変でしたが、会が終わってから毎回片町に皆で繰り出し、一杯飲み歩くのが楽しみでした。そのうち英語の手紙がきて米永氏に訳してもらい、どうやら国際の方への届出らしいということなので返信しましたが、名前も住所も英語で書いたのは初めてでした。

1993 年 6 月 12 日、京都国際会館にて開催された第 48 回日本区大会で時間をいただき、2～3 分、チャーターのご挨拶をしました。1 日早く京都に到着した私たちはホテル近くを観光、夕食がてらお酒を飲んでホテルに帰りましたが、寝る前に「明日、壇上で挨拶してくれ」と米永氏に言われたので、すぐにスピーチの原稿を書き、寝不足のまま本番になりました。

当時、東西ワイズは合同で日本区大会を年 1 回開催していました。バブル経済が絶好調の時に、ワイズメンが増えすぎ、大きなコンベンションホールは大都会にはあっても

他の地域では無く、ワイズメンが全員集まることができなくなり、その後 3 年程で東西に分かれることになりました。メンバーの増減は、経済が発展し好景気の時は増えるし、不景気の時は



減るなど、社会状況にも影響されます。金沢犀川クラブも然りです。設立当時メンバー数 20 名を超えていたのに 20 年経た現在、10 名に満たない状況です。YMCA もワイズメンズクラブも、社会状況の変化に応じた取り組みが必要でしょう。

クラブ創立20周年を振り返って

書記、地域奉仕・環境委員長 北 肇夫

当時、就職以来 26 年目にして初めての金沢勤務となった。日常業務は多忙を極め、精神面でも 24 時間拘束というなかでの生活が強いられていた。前々から、地に足をつけた生活を希求するとともに、これまでの業務面での結びつきの範疇を超えた人間関係を求めている。そんな折に、高校時代の友人から「YMCA の活動を支援し、生涯学習の活動や国際的な奉仕活動に取り組むクラブ」への勧誘があり、新クラブ立上げに参画するというよりは、取りあえずメンバーに加わることにした。私が金沢犀川クラブの皆さんと共に心血を注いだ、あるいは印象に残っている行事や出来事などはつぎのとおりである。

1993 年 6 月 12 日、第 48 回日本区大会（国立京都国際会館）において金沢犀川クラブのチャーターナイトが挙行された。

1998 年 11 月 8 日、ワイズデーに新桜坂緑地（W 坂）の清掃奉仕が開始された。

2001 年 10 月 8 日、北陸地区 4 クラブ合同特別例会（兼・ワイズ研修会、中部部長公式訪問）が和風レストラン“きたま”で開催された。

2003 年 5 月 24 日、金沢犀川クラブ設立 10 周年記念講演会・祝会が開催された。

2004 年 9 月 12 日、第 8 回中部部会（川村・中部部長、当クラブ：ホストクラブ）がウェルシティ金沢で開催された。

2005 年 4 月 17 日、京都部・中部・びわこ部合同 Y・Y フォーラムと夜桜フェスタが京都 YMCA リトリート（宇治市）で開催され、川村・中部部長とともに参加した。

2007 年 4 月 30 日、これまで金沢犀川クラブが行なってきた「竹の子特別例会」は、金沢 YMCA 主催「たけのこ掘り体験」として、金沢クラブと当クラブが共催することとなった。

2008 年 7 月 17 日、療養中の川上明君が逝去。

2010 年 11 月 7 日、第 8 回金沢わいわい寄席（上方落語を楽しもう）は、当クラブが当番クラブとなり、実行委員会形式で行われた。

2013 年 6 月 13 日、当クラブ創立 20 周年記念例会が金沢白鳥路ホテルで開催された。

2013 年 8 月 31 日、第 17 回中部部会（平口・中部部長、当クラブ：ホストクラブ、協力クラブ：金沢クラブ）が金沢都ホテルで開催された。



（第 8 回金沢わいわい寄せ”懇親会にて森乃福郎師匠らと）

これからも、メンバーの皆さん共々、健康に留意しつつ、将来展望などの議論を重ね、活力あるクラブ運営に臨みたいと思う。

入会から第 17 回中部部会までの思い出

交流委員長 竹中 丈晴

私がこのクラブの存在を知ったのは、2011 年 8 月、高校時代の教会仲間であった現中部部長の平口君から突然メールで例会に誘われたのが初めてでした。また、8 月 12 日(金)開催の第一例会で講演するのが同じ教会仲間だった藤田英典氏(共栄大学教育学部教授・学部長)だということで、50 年ぶりで再会できるという懐かしさも手伝って参加したのがきっかけでした。例会後、市内のカラオケスナックで懐かしい昔の話に花が咲き、その席で平口君から会費を払うだけでもいいからこのクラブに入らないかといわれ、特に考えもしないでそのまま OK の返事をしたのです。

翌年の 1 月例会で正式に会員となったものの、月 2 回の例会参加は毎日 7 時過ぎまで現役で仕事をしている私には意外と重荷であるだけでなく、わがままで好き嫌いの激しい性格で、団体活動には不向きな私には長くは務まらないのではと思ったりしましたが、皆様の温かいお心遣いに支えられて現在に至っております。

そんな中で 2012 年 8 月 11 日(土)に開催された第一例会では、平口君のご尽力により、かつて私の高校時代に若草教会の牧師をされていて、現在、前橋市にお住まいの森野善右衛門先生を特別にお招きし、拙宅 3 階のチャペルでご講演をいただきました。ご講演は「平和の創造—カント、ボンヘッフアー、憲法 9 条をめぐる」という難しい演題でしたが、要は戦争をしないことが日本の最大の国際貢献だと極めてシンプルな結論でした。先生とは以前からぜひお会いしたいと願っていただけに 40 数年ぶりの先生との再会は万感極まる思いでした。

2013 年 8 月 31 日(土)、金沢犀川クラブがホストクラブになっての第 17 回中部部会では、オープニングで私のフルートの師の村野先生と友人のチェロ奏者の中野さんとのトリオで演奏する機会を与えられ、恥ずかしながら皆さんの前でご披露することができました。

この先いつまで健康が与えられるかは分かりませんが、健康が許す限り皆さんの足手まといにならない程度に活動が続けられたらと願っております。



(2012 年 8 月第一例会講演後の記念集合写真)

入会 10 年目に思うこと

広報・ブリテン・EMC 委員長 平口 哲夫

入会したのは 2004 年 12 月ですので、入会してからちょうど 10 年目に 2013-2014 中部部長として下半期の活動をし、また創立 20 周年記念誌の完成に漕ぎ着けたこととなります。この年度は、これまでの私のワイズ歴において最も濃密で思い出深い 1 年間であったと思います。

そもそも私のワイズメンズクラブ入会は、ブリテン 2014 年 6 月号の「“ご縁”と“摂理”(4)」に記したように、2004 年 4 月 7 日に脳梗塞を発症し、二十日間ばかりの入院を余儀なくされたことにより、人生観に大きな変化が生じていたときに、金沢 YMCA で馴染みの三谷信三ワイズから金沢犀川クラブ 11 月第一例会での卓話を依頼されたのが直接の切っ掛けです。実はそれまで、金沢に三つもワイズメンズクラブがあるということを知らなかったのが、2007 年に金沢クラブの 1 月第一例会で卓話をしたときの記憶が念頭にあって、今回もてっきり金沢クラブの例会だと思って卓話を引き受けたのでした。三谷ワイズからは直接入会勧誘の言葉をかけられたわけではないのですが、いかにも入会してほしいと書いてあるようなニコニコ顔にほだされて入会することにした次第です。スマイルこそ勧誘のコツですね。

金沢クラブのホームページは 2005 年から担当し、その関係でブリテンの編集にも携わることになり、2007-2008 年度には会長を務め、2008-2009 年度には会長と中部広報事業主査を担当、2009-2010 年度からは広報委員長も引き受けました。2010-2011 年度に金沢クラブの澁谷洋太郎ワイズが中部部長になられたときには再び中部広報事業主査を担当、2012-2013 年度からは中部ホームページの委員となり、管理のお手伝いもしております。インターネット関係の実務は誰でもできるわけではなく、また、編集作業は単に原稿を集めて掲載するだけではなく、文章の校閲ないし校正の能力も必要としますから、担当者が固定化するのはいやむをえません。しかし、私が不得手なことは、他のメンバーが担当したり、補ったりしてくださいますから、お互いさまです。

さて、中部部長としての活動に話を戻しますと、2013 年 11 月 16 日に開催された西日本区 2013-2014 年度第 2 回役員会の夕食・懇親会の席で、思いがけず「皆勤賞」なるものを頂戴しました。表彰状の文面は、「中部部長 平口哲夫殿 貴方は雨にも負けず、風にも負けず、平成 25 年度ワイズメンズクラブ国際協会西日本区における九部会全制覇されたことをここに賞します。平成 25 年 11 月 16 日 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区事業主任一同」というものです。台風の影響が心配されるなかで開催された部会がいくつか



ありましたので、「雨にも負けず、風にも負けず」というのはまんざらでもありませんが、たまたま時と金と体調の三拍子が揃ったので「九部会全制覇」が実現したのです。金沢犀川クラブがホストを務めた中部部会の開催準備ではヘトヘトになりましたが、これを無事終えてからの他部会参加はまことに気楽で、大いにリフレッシュしました。

脳梗塞の中でも「不整脈(心房細動)による心原性脳塞栓」という病名で入院し、退院してから 10 年目を無事に迎えることができ、感謝しております。

年表（1990 年 11 月～2014 年 6 月）

年 度 (7 月-6 月)	会 長	中部役員・事業主査など 主要な出来事(通常例会は除く)
1990-1993		1990 年 11 月から「新 Y's Men's Club 準備会ニュースター」を発行し、チャーターメンバーを募る。 1990 年 5 月から名称を「金沢犀川 Y's Men's Club 準備会」としてニュースターを発行。 1991 年 8-10 月:脳死をテーマに各界から講師を招いて例会を開催。 1991 年 11 月から卓話のテーマを広げて例会を開催。 1993 年 1 月 15 日:金沢犀川ワイズメンズクラブ設立総会をセンチュリープラザで開催。 1993 年 2 月:金沢 YMCA 主催のウェルネス公開講演会に参加協力。 1993 年 6 月 12 日:第 48 回日本区大会(京都国際会館)において金沢犀川クラブのチャーター(加盟認証)式が行われる。チャーター人数 22 名(川上明・川代勝彦・川村孝治・唐津一郎・北肇夫・須加栄・杉田一平・高木啓一・西脇恵・丹羽正彦・福島源爾・福田実・三谷信三・山川秀之・米永吉範・ほか 7 名)。例会場所をセンチュリープラザ、例会日時を第三水曜日午後 7 時～9 時とする。
1993-1994	川村 孝治	1993 年 11 月 10 日:ワイズデーに留学生協会を通じワイズポット 100kg を贈呈。 1993 年 12 月 22 日:金沢・金沢犀川合同クリスマス特別例会を商工会議所「会館グリル」で開催。 例会場所を金沢 YMCA 集会室とする。 1994 年 3 月 16 日:例会で 3 分英会話のプログラムを開始。 1994 年 4 月から例会場所を長町研修館、役員会の場所を金沢 YMCA 集会室とする。 1994 年 6 月 4 日:熊本で開催された第 1 回西副区大会に 3 名参加。
1994-1995	三谷 信三	1994 年 8 月 21 日:富山クラブがホストクラブとなって開催された第 1 回中部部会(庄川温泉観光ホテル)に金沢犀川クラブから何名か参加。 1994 年 8 月:クラブが支援している金沢 YMCA 少年サッカーチームがルネス学院主催大会で優勝。 1994 年 8 月:クラブが支援している金沢 YMCA シュニアグループが第 8 回中日本 YMCA 少年大会(飛騨の数河高原)で準優勝。 1994 年 9 月 17 日:菅原美穂子中部部長・井之上温代 EMC 主査出席のもと、EMC 特別例会を山中温泉「たわらや」で開催。 1994 年 10 月 2 日:金沢市青少年団体連絡協議会主催のグリーンキャンペーンにクラブとして初参加。 1995 年 5 月 17 日:澤瀬諭君の入会式を 5 月第一例会(長町研修館)において行う。 1995 年 6 月 3 日:第 49 回日本区大会(国立横浜国際会議場)に 4 名参加。 1995 年 5 月 25 日～26 日:第 2 回西副区大会(六甲研修センター)に数名参加。

1995-1996	三谷 信三	
	1995 年 7 月 18 日:YMCA 少年サッカー選手権大会のプログラムに参加協力。 1995 年 7 月 25 日:アカイ船釣特別例会のプログラム開始。 1995 年 8 月 26:第 2 回中部部会(愛知県知多「たくみ観光ホテル」)に数名参加。 1995 年 10 月:ワイズポトを知的障がい施設「萩の里」に贈呈。 1996 年 5 月 11 日:川村孝治君の主導により「竹の子特別例会」を開始。 1996 年 6 月 22 日:金沢浅の川クラブのワイズメンズクラブ国際協会加盟認証伝達例会(ホテル日航金沢)に参加。	
1996-1997	福田 実	
	1996 年 7 月 28 日:第 1 回白山連邦合衆国少年サッカー選手権大会の送迎を援助。 1996 年 8 月 17 日:第 10 回中日本 YMCA 少年サッカー大会(丹波少年自然の家)に参加協力。 1996 年 10 月 12 日:金沢・富山・金沢犀川クラブ合同の中部部長公式訪問特別例会(長町研修館) 1996 年 12 月 14 日:金沢 YMCA 設立 50 周年事業(ホリデー・イン金沢)に参加協力。	
1997-1998	高木 啓一	
	1997 年 7 月 30 日:富山 YMCA 主催サッカー合宿キャンプに協力。 1998 年 4 月 9 日:薦田正男中部部長公式訪問特別例会(小松市 赤穂谷温泉) 1998 年 6 月 13 日:第 1 回西日本区大会(倉敷市芸文館)に数名参加。	
1998-1999	高木 啓一	
	1998 年 8 月 20 日:金沢・金沢浅の川・金沢犀川クラブの合同例会を開催。 1998 年 8 月 29 日:第 3 回中部部会(三重県長島温泉「ホテル花水木」)に数名参加。 1998 年 11 月 8 日:ワイズデーに新桜坂緑地(W 坂)の清掃奉仕を開始。 1998 年 12 月:クラブネーム入りウインドブレーカー(若草色と白色の 2 着セット)を新調。 1999 年 6 月 19 日~20 日:第 2 回西日本区大会(全日空ゲートタワーホテル大阪)に数名参加。	
1999-2000	川上 明	
	2000 年 6 月 3 日~4 日:第 3 回西日本区大会(都ホテル京都)に数名参加。	
2000-2001	川上 明	会計:高木啓一
	2000 年 9 月 15 日:金沢クラブがホストクラブになって開催された第 4 回中部部会(金沢工大穴水自然学園)に数名参加。 2001 年 6 月 9 日~10 日:第 4 回西日本区大会(鹿児島市民文化ホール)に数名参加。	
2001-2002	北 肇夫	
	2002 年 6 月 8 日:第 5 回西日本区大会(ホテルグランヴィア京都)に 2 名参加。	
2002-2003	北 肇夫	
	2002 年 7 月から第一例会の主会場を長町研修館、第二例会(兼役員会)の主会場を金沢ワシントンホテル「チャイナテーブル」とする。 2002 年 7 月 25 日:7 月第一例会で吉本健一郎君の入会式が行われる。	

2003-2004	2002 年 10 月 26 日:金沢・富山・金沢犀川クラブ'合同の山本茂樹中部部長公式訪問特別例会を内灘町サイクリングターミナルで開催。	
	2003 年 6 月 14 日～15 日:第 6 回西日本区大会(彦根市文化プラザ')に数名参加。	
	2003 年 5 月 24 日:金沢犀川クラブ'設立 10 周年記念講演会が石川県教育会館 3 階大ホール、記念例会が料亭「北間楼」で開催される。	
	2003 年 6 月 14 日～15 日:第 6 回西日本区大会(ひこね市文化プラザ')に数名参加。	
2004-2005	三谷 信三	
	2004 年 3 月 15 日:第 1 回金沢わいわい寄席(主催:金沢 YMCA、共催:金沢クラブ・金沢犀川クラブ、会場:石川県立音楽堂交流ホール)開催。	
	2004 年 6 月 12 日～13 日:第 7 回西日本区大会(大会会場 加賀市文化会館、懇親会・宿泊 山代温泉「ホテル百万石」)が開催され、金沢犀川クラブ'がホストクラブ'(高木啓一君が副実行委員長)となり、数名参加。	
	三谷 信三	部長:川村孝治、書記:北 肇夫、会計:川村 明、事務局長:三谷信三
2005-2006	2004 年 9 月 12 日:第 8 回中部部会がウェルシティ金沢(石川厚生年金会館)で開催される。	
	2004 年 11 月 2 日:金沢犀川クラブ'のホームページが本格化し、アクセスカウンターが設置される。	
	2004 年 12 月 22 日:12 月第一例会(金沢ニューグランドホテル)で平口哲夫君の入会式が行われる。	
	2005 年 2 月 10 日:第 2 回金沢わいわい寄席(石川県立音楽堂交流ホール)	
2006-2007	2005 年 6 月 11 日～12 日:第 8 回西日本区大会(ポートピアホール)に数名参加。	
	川上 明	直前部長:川村孝治
	2005 年 9 月 18 日:第 9 回中部部会(南山ファミリー YMCA)に 5 名参加。	
	2006 年 2 月 7 日:第 3 回金沢わいわい寄席(石川県立音楽堂交流ホール)開催。	
2006-2007	2006 年 6 月 10 日～11 日:第 9 回西日本区大会(名古屋国際会議場・白鳥センチュリーホール)に 6 名参加。	
	川村 孝治	監事:川村孝治、ファンﾄ'主査:高木啓一
	2006 年 9 月 18 日:第 10 回中部部会(四日市シティホテル)に 6 名参加。	
	2006 年 10 月 27 日:第 4 回金沢わいわい寄席(当番:金沢クラブ、委員長:澁谷洋太郎、会場:石川県立音楽堂交流ホール)開催。	
	2006 年 11 月 9 日:金沢・金沢犀川クラブ'合同の栗原正明中部部長公式訪問特別例会を金沢ワシントンホテルで開催。	
	2006 年 12 月 21 日:金沢・金沢犀川クラブ'合同クリスマス特別例会(金沢ニューグランドホテル)	
	2007 年 4 月 14 日～15 日:中部メネット会が加賀市片山津温泉郷「あたかや佳水郷」で開催され、5 名参加。	
	2007 年 4 月 30 日:これまで金沢犀川クラブ'が主催してきた「竹の子例会」を、今回から金沢 YMCA 主催の「たけのこキャンプ」とし、金沢クラブと金沢犀川クラブ'が共催するかたち	

	をとる。
	2007年6月9日～10日：第10回西日本区大会(松下IMPホール・ホテルニューオータニ大阪)に5名参加。
2007-2008	平口 哲夫 2007年9月から第一例会の主会場を「兼六城下町 ホテル兼六」、第二例会の主会場を金沢YMCA集会室とする。 2007年9月16日：第11回中部部会(名古屋国際空港セントレアホール・セントレアホテル)に5名参加。 2007年10月20日：第5回金沢わいわい寄席(当番：金沢犀川クラブ、実行委員長：三谷信三、会場：金沢市文化ホール大集会室)開催。 2007年11月11日：金沢市青少年団体連絡協議会主催「ながまちふれあいフェスティバル2007」に金沢YMCA・金沢クラブと協働して参加。 2007年12月20日：金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会(金沢ニューグランドホテル) 2008年2月17日～18日：2月新春特別例会(山中温泉「たわらや」)で、澤田憲司西日本区EMC事業主任・松岡義隆西日本区2000推進委員長を含む7名のゲスト出席のもと、澤瀬諭君(再入会)の入会式が行われる。 2008年6月14日～15日：第11回西日本区大会(なら100年会館・ホテル日航奈良)に3名参加。
2008-2009	平口 哲夫 広報主査：平口哲夫 2008年7月17日：金沢犀川クラブの川上明君逝去。 2008年10月31日：第6回金沢わいわい寄席(当番：金沢クラブ、実行委員長：澁谷洋太郎、会場：石川県立音楽堂交流ホール) 2008年11月23日：金沢市青少年団体連絡協議会主催「ながまちふれあいフェスティバル2008」に金沢YMCA・金沢クラブと協働して参加。 2009年6月6日～7日：第12回西日本区大会(熊本市民ホール・ホテル日航熊本)に2名参加。
2009-2010	三谷 信三 ファント主査：澤瀬 諭 2009年8月28日：金沢犀川クラブが1999年から取り組んできた新桜坂緑地(W坂)清掃活動が金沢市公園等里親事業の支援を受けることになり、その合意書取り交わし式に地域奉仕・環境事業委員長の北肇夫君が出席。 2009年9月6日：第13回中部部会(名古屋の名鉄ニューグランドホテル)に3名参加。 2009年10月22日：第7回金沢わいわい寄席(当番：金沢クラブ、実行委員長：澁谷洋太郎、会場：石川県立音楽堂交流ホール)開催。 2008年11月22日：金沢市青少年団体連絡協議会主催「ながまちふれあいフェスティバル2009」に金沢YMCA・金沢クラブと協働して参加。 2010年6月12日～13日：第13回西日本区大会(広島国際会議場)に3名参加、金沢犀川クラブはクラブリーフレット優秀賞(1クラブ)を受賞。
2010-2011	北 肇夫 広報主査：平口哲夫

	2010 年 8 月 5 日～6 日：第 69 回横浜国際大会（パシフィコ横浜）に 2 名参加。	
	2010 年 10 月 2 日：第 14 回中部部会（金沢クラブがホストクラブ、金沢犀川クラブが協力クラブ）が金沢ニューグランドホテルで開催される。	
	2010 年 11 月 7 日：第 8 回金沢わいわい寄席（当番：金沢犀川クラブ、委員長：北肇夫、会場：石川県立音楽堂交流ホール）開催。	
	2011 年 11 月 14 日：金沢市青少年団体連絡協議会主催「ながまちふれあいフェスティバル 2010」に金沢 YMCA・金沢クラブと協働して参加。	
	2010 年 12 月 16 日：金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会（金沢ニューグランドホテル）	
	2011 年 2 月 12 日：中部広報・HP 懇談会が割烹「むら井」（金沢市）で開催される。	
	2011 年 6 月 11 日～12 日：第 14 回西日本大会（京都市国際交流会館・ウエスティン都ホテル京都）に 3 名参加。	
	2011-2012	北 肇夫
	2011 年 8 月 28 日：第 15 回中部部会（名鉄ニューグランドホテル）に 3 名参加。	
	2011 年 11 月 13 日：金沢市青少年団体連絡協議会主催「ながまちふれあいフェスティバル 2011」に金沢 YMCA・金沢クラブと協働して参加。	
	2011 年 12 月 22 日：ユニセフ街頭募金に金沢 YMCA・金沢クラブと協働して参加。	
	2012 年 4 月 1 日：新桜坂緑地（W 坂）周辺で地元町内会「石交会」との合同清掃活動。	
	2012 年 4 月 15 日：長浜クラブ 25 周年・彦根シャトークラブ 30 周年合同記念例会（北ビワコホテルグランドウエイ）に 4 名参加。	
	2012 年 4 月 27 日：金沢市青少年団体連絡協議会主催クリーンキャンペーンに金沢 YMCA・金沢クラブと協働して参加。	
	2012 年 6 月 9 日～10 日：第 15 回西日本区大会（滋賀県立文化産業交流会館・長浜ロイヤルホテル・長浜文化芸術会館）に 4 名参加。	
	2012-2013	澤瀬 諭
	ファンド主査：川村孝治、次期中部部長：平口哲夫	
	2012 年 8 月 25 日：第 17 回びわこ部会（ホテルニューオー）に 3 名参加。	
	2012 年 8 月 26 日：第 16 回中部部会（名古屋ニューグランドホテル）に 3 名参加。	
	2012 年 9 月 17 日：ネット強調月間特別例会「“まいどさん”とそぞろ歩く“武家屋敷のお庭”」	
	2012 年 10 月 8 日：ハーベキュー・中部部長公式訪問特別例会（松任海浜公園）	
	2012 年 10 月 21 日：秋のクリーンキャンペーン（新桜坂緑地、通称 W 坂）。	
	2012 年 11 月 11 日：ながまち ふれあいフェスティバル（金沢市中央公民館長町館）に金沢 YMCA・金沢クラブと協働して参加。	
	2012 年 12 月 20 日：金沢クラブ・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会（金沢ニューグランドホテル）	
	2013 年 2 月 7 日：次期中部部会準備委員会（和風レストラン“きたま”）	
	2013 年 2 月 10 日～11 日：新春特別例会（金沢市深谷温泉“石屋”）	
	2013 年 3 月 9 日～10 日：西日本区次期会長・主査研修会（チランホテル大阪）に次期会長・中部部長・中部書記・中部会計が参加。	

2013-2014	2013 年 4 月 11 日:竹の子特別例会(金沢 YMCA 主催「たけのこ掘り体験」に参加・協力)、北陸学院大学 三小牛キャンパス。 2013 年 5 月 26 日:初夏のグリーンキャンペーン、金沢 YMCA 周辺と新桜坂緑地(W 坂)。 2013 年 5 月 30 日:金沢 YMCA 定期会員総会(北陸学院大学ライザー記念館)に 3 名参加。 2013 年 6 月 13 日:金沢犀川クラブ創立 20 周年記念例会(金沢白鳥路ホテル)。 2013 年 6 月 22 日～23 日:第 16 回西日本区大会(ウェスティン ナゴヤ キャッスル)に 5 名参加。	
	澤瀬	論 中部部長:平口哲夫、中部書記:北 肇夫、中部会計:川村孝治 2013 年 8 月 31 日:第 17 回中部部会(金沢犀川クラブがホストクラブ、金沢クラブが協力クラブ)が金沢都ホテルで開催される。 2013 年 9 月 1 日:第 18 回京都部部会(ホテル グランヴィア 京都)に 3 名参加。 2013 年 9 月 7 日:第 12 回六甲部部会(神戸、クリスタルタワー 3F クリスタルホール)に 1 名参加。 2013 年 9 月 12 日:中部部長公式訪問(名古屋東海クラブ)に 2 名参加。 2013 年 9 月 14 日:第 25 回阪和部部会(和泉わいわい村)に 1 名参加。 2013 年 9 月 15 日:第 17 回中西部部会(茨木市役所南館 9F スカイストラン)に 1 名参加。 2013 年 9 月 16 日:ネット強調月間特別例会として、フランス料理店“エスプリシュロス”で昼食後、金沢湯涌夢二館・江戸村などを見学。 2013 年 9 月 28 日:第 12 回西中国部会(広島 YMCA)に 1 名参加。 2013 年 9 月 29 日:第 32 回九州部会(菊南温泉ユウベルホテル)に 1 名参加。 2013 年 10 月 5 日:第 18 回びわこ部部会(琵琶湖上“観光船ビワンガ”)に 4 名参加。 2013 年 10 月 10 日:中部部長公式訪問(名古屋南山クラブ・名古屋プラザクラブ合同)に 3 名参加。 2013 年 10 月 12 日～13 日:第 12 回瀬戸山陰部部会(姫路市家島男鹿“中村荘”)に 1 名参加。 2013 年 10 月 14 日:10 月バーベキュー特別例会を中部部会の慰労会を兼ねて“桜はなび”で開催。 2013 年 11 月 10 日:ながまち ふれあい フェスティバル 2013(金沢市中央公民館長町館)に金沢 YMCA・金沢クラブと共に参加。 2013 年 11 月 16 日～17 日:西日本区役員会に平口中部部長が参加。 2013 年 11 月 21 日～22 日:中部部長公式訪問(津クラブ)に 4 名参加。 2013 年 12 月 19 日:金沢クラブ・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会(金沢ニューグランドホテル)。 2013 年 12 月 23 日:第 35 回ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金に金沢 YMCA・金沢クラブと共に協力。 2014 年 1 月 18 日:中部 EMC セミナー(名古屋 YMCA)に 3 名参加。 2014 年 2 月 4 日:中部部長公式訪問(名古屋グランパスクラブ)に 3 名参加。 2014 年 2 月 16 日～17 日:新春特別例会(湯涌温泉“さかえや”)

2014 年 3 月 11 日：中部部長公式訪問(名古屋クラブ)に 3 名参加。
 2014 年 3 月 20 日：中部部長公式訪問(四日市クラブ)に 3 名参加。
 2014 年 3 月 21 日：第 2 回中部評議会(名古屋 YMCA)に 3 名参加。
 2014 年 4 月 17 日：中部部長公式訪問(金沢クラブ)に 3 名参加。
 2014 年 4 月 19 日～20 日：西日本区役員会(ホテルクライトン新大阪)に平口中部部長が参加。
 2014 年 4 月 29 日：竹の子特別例会(金沢 YMCA 主催「たけのこ掘り体験」に参加・協力)、北陸学院大学 三小牛キャンパス。
 2014 年 6 月 14 日～15 日：第 17 回西日本区大会(シンフォニアいわくに)に 4 名参加。

例会卓話一覧（2003 年 5 月～2014 年 6 月）

開催年月日	卓話題名	卓話者
2003 年 5 月 24 日	創立 10 周年記念例会講演「ガーデニングの上手な楽しみ方」	國重 正昭 氏(園芸研究家)
2003 年 11 月 27 日	「こけし人形の歴史」	朝倉 秀之 氏(北陸学院短期大学教授)
2004 年 1 月 24 日	「棚田の自然」	谷口 正成 氏
2004 年 3 月 25 日	「漢字漫談」	三田 吉信 氏((財)日本漢字能力検定協会講師)
2004 年 6 月 24 日	「日本人に言いたいこと」	上野 禎洋 氏(芸能評論家)
2004 年 8 月 23 日	「パソコン研修」	瀧平 才治 ワイズ
2004 年 11 月 25 日	「“華徳世界”平口幸枝の洋画展」	平口 哲夫氏(金沢医科大学教授)
2005 年 3 月 24 日	「私たちのピア・カウンセリング～ガン患者家族の心のケア～」	堂上 真次 氏(石川よろこびの会)
2005 年 5 月 26 日	「犀川以南の話～富樫氏と高尾城～」	澤田 利丸 氏(元伏見台公民館館長)
2005 年 8 月 11 日	「眼を大切に」	川上 明 ワイズ
2005 年 11 月 10 日	「刃物の話」	小林 滋記 中部部長(名古屋南山クラブ)
2006 年 3 月 9 日	「讃美歌物語」	梅染 信夫 氏(元富山市立外国語専門学校校長・日本基督教団金沢教会会員)
2006 年 8 月 10 日	パソコン教室(2)「ワード・Eメール入門」	平口 哲夫 ワイズ
2006 年 9 月 14 日	「キリスト教と腹話術」	田口 昭典 氏(日本バプテスト連盟金沢キリスト教会牧師、金沢 YMCA 理事)
2006 年 11 月 9 日	金沢・金沢犀川クラブ合同例会「北陸のワイズ活性化について」	栗原 正昭 中部部長(四日市クラブ)
2006 年 12 月 21 日	金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会メッセージ	横井 伸夫 氏(日本基督教団金沢教会牧師)

2007 年 1 月 18 日	金沢クラブ 1 月第一例会に参加「鯨食文化の伝統」	平口 哲夫 ワイズ
2007 年 3 月 8 日	「浜辺の歌～歌詞と夢二の絵をめぐって～」	平口 哲夫 ワイズ
2007 年 5 月 10 日	「アートの可能性～医術は美術に憧れる～」	横川 善正 氏(金沢美術工芸大学教授)
2007 年 8 月 9 日	「俳句入門」	三谷 道子 ネット
2007 年 9 月 13 日	「地震の話」	室谷 時男 氏(元測候所所長)
2007 年 11 月 8 日	「変わり行く歴史学」	北川 知恵 氏(金沢学院大学非常勤講師、日本基督教団若草教会長老)
2007 年 12 月 20 日	金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会メッセージ	数沢 輝夫 ワイズ(金沢クラブ)
2008 年 1 月 10 日	「私の趣味～切手絵と写真～」	西出 猛雄 氏
2008 年 3 月 13 日	「卵黄油テンペラ画について」	改田 肇山 氏(洋画家)
2008 年 5 月 8 日	「ハリー・ポッターとキリスト教」	高島 涼子 氏(元北陸学院短期大学教授)
2008 年 8 月 14 日	「キリスト教徒が学問と科学を生んだ」	田向 洋 氏(元金沢工業高等専門学校副校長)
2008 年 9 月 11 日	「堤防が危ない！ 浅野川洪水から見えてくるもの」	渡辺 寛 氏(ナギの会代表)
2008 年 11 月 13 日	「一外国人から見た日本～まちづくり・歴史的記憶・宗教心～」	チブリアノ・ボンタキオ 氏(カトリック金沢教会神父)
2008 年 12 月 11 日	クリスマス特別例会メッセージ	堀岡 啓信 氏(北陸学院高等学校校長)
2009 年 1 月 22 日	「アンネの日記」	田村 光彰 氏(北陸大学教授)
2009 年 3 月 12 日	「人は、自然・ひと・文化との豊かな関係性の中で育つ」	金森 俊朗 氏(北陸学院大学教授)
2009 年 8 月 13 日	「英国庭園めぐり～庭園デザインとハンギングバスケット～」	福塚 理恵 氏(英国王立園芸協会認定講師)
2009 年 9 月 10 日	「環境問題と省エネルギーについて」	橋本 忠 氏(マイクロテック㈱代表取締役)
2009 年 11 月 12 日	「“まいどさん”をご存じですか」	福岡 澄子 氏(金沢観光ボランティアガイド)
2009 年 12 月 10 日	「第九の日本初演と青島(チンタオ)」	志村 恵 氏(金沢大学教授)
2010 年 1 月 28 日	「厄介者の竹を楽しむ」	山本 久司 氏(NPO 法人 39 アース副理事長)
2010 年 3 月 11 日	「タクシー今昔」	作田 健意 ワイズ
2010 年 5 月 27 日	「ホテルの飛び交うまちづくり」	新村 光秀 氏(石川ホテルの会事務局)
2010 年 8 月 12 日	「県立音楽堂開館 10 年とオーケストラ・アンサンブル金沢の活躍」	山腰 茂樹 氏(石川県立音楽堂館長)
2010 年 11 月 11 日	「私の E メール体験」	平口 哲夫 ワイズ

2010 年 12 月 16 日	金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別 例会メッセージ	有田 典生 氏(日本基督教団内灘教会 牧師)
2011 年 1 月 27 日	「パイプオルガンの音楽と魅力」	黒瀬 恵(オルガニスト)
2011 年 2 月 13 日	「“罪と罰”の常識・非常識」	草野 功一 ワイズ(金沢クラブ)
2011 年 3 月 24 日	「俳句入門Ⅱ」	三谷 道子 ネット
2011 年 5 月 26 日	「災害時誰がどう動く～防災意識の向上 ～」	喜多 正一 氏(NPO 法人 石川災害ボ ランティアネットワーク代表)
2012 年 8 月 11 日	「平和の創造～カント・ボンヘッフアー・憲 法九条をめぐって～」	森野 善右衛門 氏(元東北学院大学教 授、元日本基督教団若草教会牧師)
2012 年 11 月 8 日	「俳句入門Ⅳ～秋季俳句会～」	三谷 道子 ネット
2012 年 12 月 20 日	金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別 例会メッセージ	内城 恵 氏(日本基督教団羽咋教会牧 師)
2013 年 1 月 24 日	「ネット犯罪とパソコン活用術」	齋藤 嗣人 氏(歯科医師)
2013 年 2 月 10 日	新春特別例会「名古屋東海ワイズメンズク ラブ 1 月第一例会に参加して」	平口 哲夫 ワイズ
2013 年 3 月 14 日	「アナログからデジタルへの谷間」	山岸 勝信 氏(株WAY 企画事務所代 表)
2013 年 5 月 9 日	「“食べられるほど安心”な化粧品」	千田 和弘 氏(株ルバンシュ代表取締役)
2013 年 6 月 13 日	創立 20 周年記念例会「わかりやすいキリ スト教」	桶谷 忠司 (日本基督教団福野伝道所 牧師)
2013 年 7 月 11 日	「第 16 回東日本区大会と東日本大震災 津波被災地“大槌”訪問に参加して」	平口 哲夫 ワイズ
2013 年 8 月 8 日	「白山の魅力を探る」	三谷 幹雄 氏(NPO 法人 石川県自然 史センター専務)
2013 年 11 月 14 日	「継がれてきた銭五の精神」	米田 志津子 氏(公益財団法人 銭屋 五兵衛記念館)
2013 年 12 月 19 日	金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別 例会メッセージ	楠本 史郎 氏(北陸学院院長、元日本 基督教団若草教会牧師)
2014 年 1 月 23 日	「“小さな世界都市・七尾”を目指して」	森山 奈美 氏(株御祓川代表取締役社 長)
2014 年 2 月 16 日	「西日本区 9 部会に参加して」	平口 哲夫 ワイズ
2014 年 3 月 13 日	「特別名勝“兼六園”はこんなにおもしろ い～大名庭園の庭づくりが教えるもの～」	森永 壽久 氏(石川県夕日寺県民公園 園長、元石川県金沢城・兼六園管理事 務所所長)
2014 年 5 月 8 日	「輝こう熟年！ ―これからの生き方再発 見―」	菱田 陽子 氏(元北陸学院大学短期大 学部教授)
2014 年 6 月 12 日	「地中海クルージング体験記―イタリアのチ ヴィタヴェッキア港～カナリア諸島―」	平口 哲夫 ワイズ

《編集後記》

金沢犀川ワイズメンズクラブのチャーター年月日は1993年6月12日ですので、20年目に当たる2013年の6月13日(木)に開催された6月第一例会では、ささやかながら創立20周年記念式を執り行いました。また、当クラブがホストを務めて同年8月31日(土)に開催した第17回中部部会では、20周年の記念品として作成したクリアファイルを参加者に贈呈しました。この記念誌も20周年記念事業の当初計画では中部部会に間に合わるつもりでしたが、多忙のため何度も完成予定日を先送りする羽目となった次第です。

そこで、記念誌を本編と写真編とに分け、まず本編を当クラブのホームページ(HP)に掲載し、その後、本編と写真編をCDに収録して適宜配布することにいたしました。本編に掲載された例会卓話一覧は、HP初版では2003年5月～2014年6月の期間に限定し、それ以前については改訂版で追加する予定です。写真編に収録する写真も2003年5月～2014年6月の期間に限定し、それ以前については収集が捗っていないため、別の機会にHPなどで紹介することにしたいと存じます。

現在、当クラブのHPに掲載されているブリテンは2004年6月号からです。ブリテンに順次目を通すだけでもクラブの歴史を知ることができますので、それ以前のブリテンもデータ化してホームページに掲載すればよいのですが、まだその作業に着手できないでおります。写真アルバムも2005年4月からのものがHPに掲載されていますが、2013年7月以降については作業が滞っていますので、古い写真だけでなく新しい写真の掲載も進めていく必要があります。

20周年記念誌の編集を担当した私が入会したのは2014年12月のことですので、過去10年間のことについてはよく知っているものの、それ以前のこととなると分からないことが多く、またチャーターメンバーであっても創立以来10年間の写真を集めるのに難儀しているのが現状です。不完全な記念誌ですが、ともかく現時点でのまとめとしてお読み願います。

末尾ながら、急な執筆依頼に快く応じてくださった2013-2014西日本理事の高瀬稔彦ワイズと2013-2014中部監査の長谷川和宏ワイズに厚く御礼申し上げます。

(編集者)

金沢犀川ワイズメンズクラブ創立20周年記念誌

発行日：2014年6月30日

編集・発行：ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部

金沢犀川ワイズメンズクラブ

〒924-0072 石川県白山市千代野西6-7-3

澤瀬 諭 気付

TEL / FAX: 076-276-7822 E-mail: nrj35245@nifty.com

編集担当：広報委員長 平口 哲夫

TEL: 076-264-0220 E-mail: koshomachiruka@yahoo.co.jp

金沢犀川ワイズメンズクラブのホームページ <http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>
